

【調査結果の概要】

1 概況（従業者4人以上）

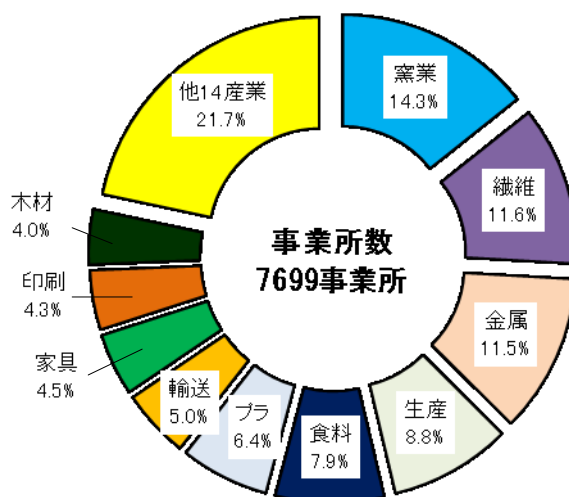
平成20年の概況は次のとおりである。

- ◎ 事業所数は、7699事業所で、前年に比べ191事業所（前年比2.5%）増加した。
- ◎ 従業者数は、21万576人で、前年に比べ6076人（同△2.8%）減少した。
- ◎ 製造品出荷額等は、5兆9590億円で、前年に比べ804億円（同1.4%）増加した。
- ◎ 付加価値額は、2兆1314億円で、前年に比べ274億円（同1.3%）増加した。

2 事業所数（従業者4人以上）

- ① 事業所数は7699事業所で、前年に比べ191事業所（前年比2.5%）増加している。（表-1）
- ② 産業別にみると、増加したのは、生産用機械器具製造業、金属製品製造業、食料品製造業など19産業である。一方、減少したのは、はん用機械器具製造業、電気機械器具製造業など5産業である。（表-2）
- ③ 従業者規模別にみると、4～9人事業所で大きく増加している。（表-3）
- ④ 圏域別にみると、すべての圏域で増加しており、中濃圏域で72事業所（前年比4.0%）増と大きく増加している。（表-4）
- ⑤ 構成をみると、窯業・土石製品製造業が1103事業所（構成比14.3%）と最も多く、次いで繊維工業が891事業所（同11.6%）、金属製品製造業が888事業所（同11.5%）となっている。（表-2）

図-1 事業所数の構成（従業者4人以上）



3 従業者数（従業者4人以上）

① 従業者数は21万576人で、前年に比べ6076人（前年比△2.8%）減少している。
（表-1）

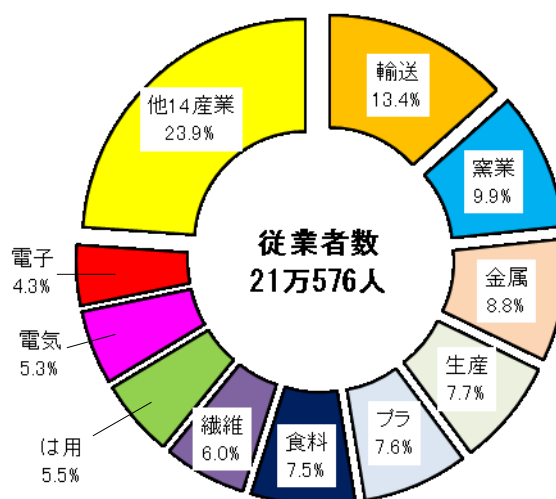
② 産業別にみると、増加したのは、生産用機械器具製造業など10産業である。一方、減少したのは、輸送用機械器具製造業、窯業・土石製品製造業、電気機械器具製造業など14産業である。（表-2）

③ 従業者規模別にみると、100～299人事業所で大きく減少している。（表-3）

④ 圏域別にみると、減少したのは、西濃圏域（前年比△4.6%）、中濃圏域（同△2.9%）、東濃圏域（同△2.7%）、岐阜圏域（同△1.7%）であった。一方、増加したのは、飛騨圏域（同0.1%）のみであった。（表-4）

⑤ 構成をみると、輸送用機械器具製造業が2万8313人（構成比13.4%）と最も多く、次いで窯業・土石製品製造業が2万812人（同9.9%）、金属製品製造業が1万8586人（同8.8%）となっている。（表-2）

図-2 従業者数の構成（従業者4人以上）



4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

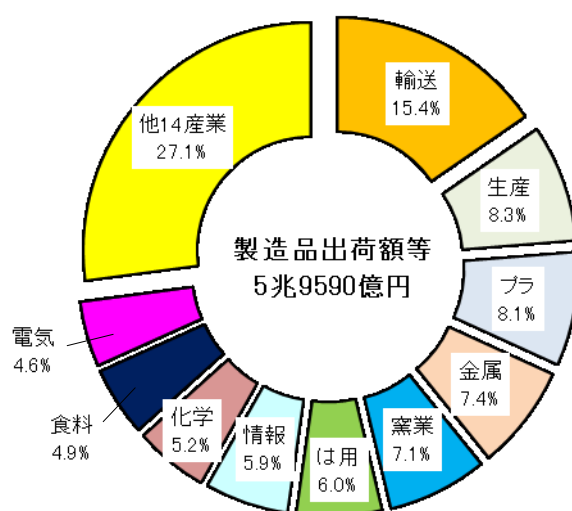
① 製造品出荷額等は5兆9590億円で、前年に比べ804億円（前年比1.4%）増加している。（表-1）

② 産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業、化学工業など11産業である。一方、減少したのは、窯業・土石製品製造業、電気機械器具製造業など13産業である。（表-2）

③ 圏域別にみると、増加したのは、岐阜圏域（前年比8.6%）、中濃圏域（同1.0%）であった。一方、減少したのは、西濃圏域（同△2.2%）、飛騨圏域（同△2.0%）、東濃圏域（同△1.8%）であった。（表-4）

④ 構成をみると、輸送用機械器具製造業が9192億円（構成比15.4%）と最も多く、次いで生産用機械器具製造業が4950億円（同8.3%）、プラスチック製品製造業が4803億円（同8.1%）となっている。（表-2）

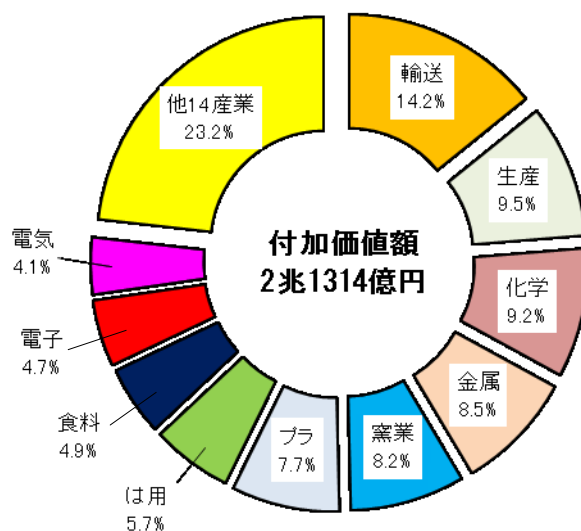
図-3 製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



5 付加価値額（従業者4人以上）

- ① 付加価値額（粗付加価値額での集計を含む）は2兆1314億円で、前年に比べ274億円（前年比1.3%）増加している。（表-1）
- ② 産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業、化学工業など6産業である。一方、減少したのは、電子部品・デバイス・電子回路製造業、生産用機械器具製造業、窯業・土石製品製造業など18産業である。（表-2）
- ③ 圏域別にみると、増加したのは、岐阜圏域（前年比28.1%）、飛騨圏域（同2.0%）であった。一方、減少したのは、西濃圏域（同△9.0%）、東濃圏域（同△6.4%）、中濃圏域（同△5.3%）であった。（表-4）
- ④ 構成をみると、輸送用機械器具製造業が3029億円（構成比14.2%）と最も多く、次いで生産用機械器具製造業が2027億円（同9.5%）、化学工業が1966億円（同9.2%）となっている。（表-2）

図-4 付加価値額の構成（従業者4人以上）



6 圏域別にみた産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

【岐阜圏域】

製造品出荷額等は1兆4750億円で、前年に比べ1164億円（前年比8.6%）増加している。
産業別にみると、輸送用機械器具製造業が4260億円（構成比28.9%）と最も多く、次いで化学工業が1775億円（同12.0%）、プラスチック製品製造業が955億円（同6.5%）などとなっている。

【西濃圏域】

製造品出荷額等は1兆4182億円で、前年に比べ325億円（前年比△2.2%）減少している。
産業別にみると、電子部品・デバイス・電子回路製造業が2108億円（構成比14.9%）と最も多く、次いでプラスチック製品製造業が1898億円（同13.4%）、窯業・土石製品製造業が1320億円（同9.3%）などとなっている。

【中濃圏域】

製造品出荷額等は1兆8861億円で、前年に比べ189億円（前年比1.0%）増加している。
産業別にみると、生産用機械器具製造業が2788億円（構成比14.8%）と最も多く、次いで輸送用機械器具製造業が2769億円（同14.7%）、情報通信機械器具製造業が2679億円（同14.2%）などとなっている。

【東濃圏域】

製造品出荷額等は8977億円で、前年に比べ165億円（前年比△1.8%）減少している。
産業別にみると、窯業・土石製品製造業が1709億円（構成比19.0%）と最も多く、次いで電気機械器具製造業が1162億円（同12.9%）、情報通信機械器具製造業が799億円（同8.9%）などとなっている。

【飛騨圏域】

製造品出荷額等は2821億円で、前年に比べ59億円（前年比△2.0%）減少している。
産業別にみると、化学工業が484億円（構成比17.2%）と最も多く、次いで非鉄金属製造業が428億円（同15.2%）、家具・装備品製造業が342億円（同12.1%）などとなっている。

図－5 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

